

# ミステリ読書案内

2021. 7. 27 発行元

第258号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

## 夏樹静子の代表作

私の住んでいる市の図書館の開架本棚に夏樹静子の本はほんの数冊しか並んでいない。新しい作家の本にどんどん押されていくようだ。その昔に話題になった夏樹静子の代表作3冊を取り上げて紹介しよう。

### 夏樹静子という作家

今の若い人たちにとっては全く馴染みのない作家なのかもしれない。夏樹静子は学生時代の昭和35年(1960年)頃から作品を書き始め、昭和44年に『天使が消えてゆく』が乱歩賞の候補になった。昭和48年に『蒸発』で協会賞を受賞してからは、実力者として認められ、安定した作風で作品を量産した。

謎解きミステリの要素も含まれているが、女性の心理描写や徹底した取材に基づく社会派としての側

面の印象の方が強い。若い頃の私にとってはきわめて「日本的なミステリ」という受け止めであって、当時の海外ミステリ好みの中の自分の読書傾向からすると「感覚的に合わないなあ」と思っていた。私は作品をそれほどたくさん読んでいない。

よって今回代表作として考えたのは初期の『蒸発』と『喪失』、それに中期の作品としては『Wの悲劇』の3作。『霧氷』も考えてはみたが…。また、短編集もかなりあるが特に高得点をつけるほどのものは思いつかなかった。

### No. 3「喪失ある殺意のゆくえ」

私が持っている本は昭和48年(1973年)のカッパノベルズ『蒸発』で協会賞を受賞した後の第一作ということになる。しかし原型は昭和45年に『夕刊フクニチ新聞』に連載した『幻の季節』という作品で、それを倍の長さに改変してこの作品に仕上げた。

九州テレビのディレクターをしている29歳の杉原湊子が主人公。彼女はふとした行き違いの中で出会った男に亡き兄の面影を見出したが、その男が行方不明になってしまう。何人かの関係者のつながりを手掛かりに彼女なりの捜索が続く。九州を舞台に旅情豊かにストーリーが展開していく。題名のように、頭の中で作り上げた幻影は消える運命にあるのか。

**No. 1「蒸発 ある愛の終わり」** 昭和48年の作。日本推理作家協会賞受賞作。飛行機からの乗客の消失、鉄道時刻表などの本格謎解きミステリの特徴を持ちながら、きめの細かい描写を用いた物語性にも重点が置かれた作品。夏樹静子と言えどもこの作品が代表作の第一に上げられるだろう。

昭和46年6月20日。新世紀航空東京発札幌行き585便から乗客の一人が消えた。朝岡美那子という女性。彼女は銀行マンの朝岡隆人と結婚しているのだが、新聞記者・冬木悟朗とも不倫の関係にあった。物語はこの冬木の視点で進む。この何日か前にベトナムに取材に出かけた冬木が現地で死亡したとの誤報が新聞に載り、それが美那子の行動のきっかけになったのではと想像される。帰国した冬木が羽田空港で札幌便に搭乗する美那子の姿を見かけるのだが…。冬木は、美那子が会社社長の丹野靖久という人物とも交際していたとの情報を得て、丹野が住む福岡に捜索に出かける。そして、丹野の妹・怜子とともに丹野を探す、潜伏先で彼を死体となった姿を発見することになる。疑わしい容疑者が浮かび上がり……。

とこれだけ書いても、人間関係の複雑さがあり、たくさんの出来事が絡み合い、会社関係の利益の問題、愛情の問題…と混乱してくるような内容。出だしの「あらすじ」を書くのも大変。それだけ作者が熱意を込めて力を注いだことが窺える。その上に、大がかりなトリックが仕掛けてあるのだから…。

**No. 2「Wの悲劇」** 昭和57年の作。昭和59年に薬師丸ひろ子主演の映画(角川映画)になり、大きな話題を巻き起こした作品。それまでの夏樹作品とは一味違ったミステリで、題名からも推察されるようにエラリー・クイーン『X・Y・Z』シリーズを意識した「本格謎解き」を前面に押し出したものと言える。発表の前年の国際大会の場でクイーンのひとりダネイとも合って構想を話し、アドバイスも受けているようである。発刊された本にはダネイが寄せた序文のようなものが付けられている。

舞台は富士五湖の山中湖畔の別荘。製菓会社会長の和辻一族のものである。「閉ざされた山荘」というか「館」ものの形式で、限られた登場人物の中で話は展開する。家族で過ごす正月。女子大生の摩子が大伯父にあたる会長・与兵衛を刺殺する事件が発生した。たまたま摩子の卒業論文の手伝いに来ていた家庭教師の一条春生は、一族の強い希望に負けて、外部の者の犯行と見せかける偽装工作に協力することになってしまう。これが上手く行くかに見えたが、この工作を警察に暴露するような細工をする者が現れ、事件は意外な方向に展開していく。倒叙的な部分、一族の血の悲劇、遺産相続に絡む思いなど作り込みがしっかりなされた傑作である。